

# 八戸ダムだより

第1号  
平成17年11月

八戸ダム管理所

## 台風14号襲来！八戸ダム効果を発揮！！

9月6日から7日かけて台風14号が島根県沿岸を通過しました。この影響で、八戸川上流域では4日15時の降り始めから7日3時までの総雨量が156mmに達し、22時から23時の間には20mmの激しい雨を観測し、ダムへの最大流入量は $350\text{m}^3/\text{s}$ となりました。

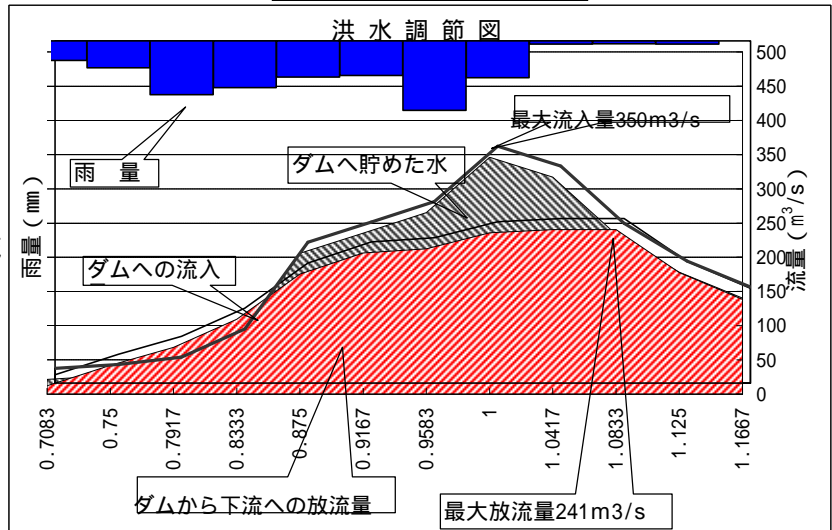
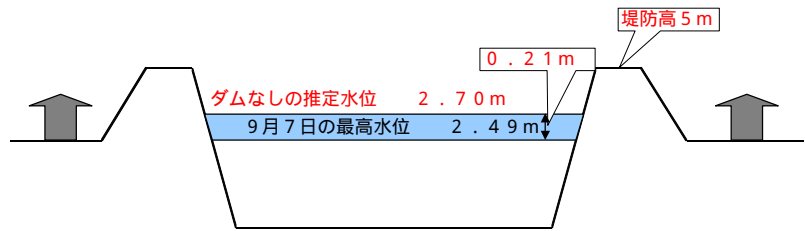
この洪水に対し、八戸ダムでは洪水調節を行い、ダム地点において最大 $112\text{m}^3/\text{s}$ の流量をカットし、ダムがない場合に比べ、江尾地点（江津市桜江町江尾）において約21cm水位を下げ、下流の被害を未然に防ぎました。

### 江の川の渇水対策

4月以降の少雨により江の川の流量が減少し、塩水遡上による江の川下流の水利使用者に影響を及ぼす状況となりました。

そこで、6月22日～7月1日まで江の川への渇水対策として、企業局と連携して、八戸ダムから最大 $4.20\text{m}^3/\text{s}$ の放流を行い、塩害防止を行いました。

江尾水位観測所付近断面図



## 川本西小学校のダム見学会



9月29日（木）川本西小学校の3・4年生の皆さん21名（3年生7名、4年生12名、引率教員2名）が社会科見学として八戸ダムに見学に来られました。

見学のねらいはダムの見学やダム職員の話を通してダムの役割や水源林の働きを知り、森林を守ることの大切さを気づかせることにありました。

当日はダム堤体あるいは監査廊内の見学およびダム職員からダムの諸元や役割について説明を行い、見学に来られた児童、先生方にダムについて十分理解を得たと自負しております。

なお、後日、学校側からのお礼の文書と共に見学に来られた児童の方から見学についての熱心な感想文をいただきました。これからもこういう機会があれば積極的に見学会等を行い、ダムについてのご理解を得たいと考えております。

# 八戸ダムからのお願い!

八戸ダムでは、ダムからの放流により、各警報局付近の水位が上昇するおよそ1時間前に右の図のとおりサイレンを吹鳴します。このサイレンを聞いたら、八戸川及び江の川に入っている人は速やかに川からあがってください。また、川に入らないようにお願いします。特に小さなお子さんには日ごろからのご指導をお願いいたします。

緊急時には、すぐにダム管理所、あるいは浜田土木建築事務所への連絡をお願いします。



## シリーズ 八戸ダムのしくみ



八戸川は、島根県西部の中国山地に源を発する流路延長約33km、流域面積303km<sup>2</sup>の河川で、北流して江の川に合流し、日本海へ注いでおります。

八戸ダムは、この八戸川の中流部の江津市桜江町に建設されたもので、昭和46年度に着工し、昭和51年度に完成しました。

このダムは、次の5つの目的をもつ多目的ダムです。

### 1. 洪水調節

既往最大洪水である昭和33年6月30日～7月1日の集中豪雨による記録的な災害(日雨量225mm)を基礎として、さらに大きな日雨量250mmを対象とする洪水調節計画をたて、ダム地点の洪水量1,190m<sup>3</sup>/sのうち、860m<sup>3</sup>/sをダムに貯め、330m<sup>3</sup>/sだけを下流に放流します。これにより下流の江尾橋で、2,120m<sup>3</sup>/s(水位:EL=4.59m)の洪水が1,260m<sup>3</sup>/s(水位:EL=3.62m)に調節されます。

### 2. 流水の正常な機能の維持

江の川の河口より8kmの赤栗地点までは塩水が遡上していますが、濁水となるとさらに上流に塩水が遡上します。

八戸ダムでは、塩害を防止するために、長良を基準点として一定量の放流を行い、下流の塩害を防止します。

### 3. 水道用水の供給

石見部の2市(江津市、大田市)に水道用水を供給するため江の川長良地点において1日最大27,000m<sup>3</sup>の取水ができるようダムから供給します。

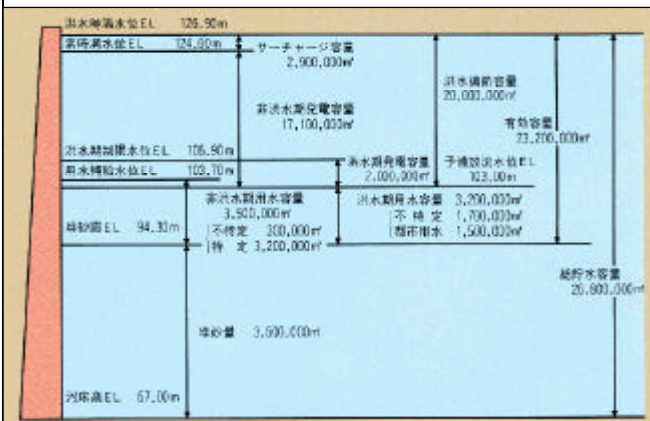
### 4. 工業用水の供給

江の川下流部の工業用水確保のため、長良地点において1日最大203,000m<sup>3</sup>の工業用水の取水ができるようダムから供給します。

### 5. 発電

八戸川第1・第2発電所  
八戸川第1発電所(最大出力6,300kW)および八戸川第2発電所(最大出力2,500kW)で発電を行っています。

八戸川第3発電所  
ダム地点～日和川合流点までの発電に伴う八戸川の減水区間解消のため、ダム地点から0.6m<sup>3</sup>/sの河川維持流量を放流することとし、この水を利用して、八戸川第三発電所(最大出力240kW)で発電をおこなっています。



### 編集後記

晩秋から初冬へと季節も移り変わりつつあり、気温もぐんと下がり、山々の紅葉も盛りを向かえております。今年も洪水期を無事乗り越えることができ、胸をなでおろしているこの頃です。

今年は川本西小学校の児童のみなさん、江津市の教職員のみなさんがダムを訪られ、3回にわたり見学会を開催しました。また、一般の見学者も数多く八戸ダムを訪られました。今後、ダムの見学会等の希望がありましたら、浜田土木建築事務所八戸ダム管理所(Tel 0855-92-1361)までご連絡ください。